

令和2年度 一般社団法人北中城村観光協会 事業計画

令和2年度・事業目標

- ・ 新規に自主事業として北中城村ふるさと納税の独自返礼品開発を行い、販売も行う。(トラベルマート きたぽ対応)
- ・ 「スタジオ キタナカ」の認知度向上と収益を強化する
- ・ 「北中城村トラベルマート きたぽ」の観光案内を動画コンテンツ化し発信する。
- ・ バンジージャンプ事業について調査・推進する

1. 会員サービスの拡充

- ① プロモーション支援
- ② 講演会、セミナー等の主催
- ③ 北中城村トラベルマート きたぽでの委託販売
- ④ 会員間の連携・共有支援
- ⑤ スタジオ キタナカを利用した会員の情報発信の場を提供

2. 観光資源創出に向けた取り組み

- ① スタジオ キタナカでの番組制作を実施し、観光資源を創出する。
- ② 新規観光資源創出に係る調査

3. 受託事業の実施

- ① 観光誘客プロモーション業務
- ② 観光情報インフラ整備推進業務
- ③ 地域おこし協力隊活動支援業務
- ④ 北中城村宿泊客調査
- ⑤ その他受託事業

4. 観光協会運営体制の確立

- ① 観光推進委員会の設置とアクションプログラムをまとめる
- ② 事務局運営体制の確立
- ③ 広域連携推進

事業計画概要

1. 会員サービスの拡充

① プロモーション支援

以下のような手段を用い、様々なプロモーションの会員支援をさせていただきます。

- ・名刺・ロゴ・チラシ・ポスター等のデザイン
- ・ラジオ「キタコトナカッタ北中城」でのPR
- ・「スタジオ キタナカ」からの情報発信
- ・ホームページへの掲載
- ・SNS（LINE、Facebook等）でのPR
- ・案内冊子・パンフレットへの掲載
- ・コピー機・ラミネート機・撮影機器等のセルフサービス提供
- ・ドローンによる空撮

② 講演会、セミナー等の主催

会員のメリットとして講演会・セミナー等を開催します。

準備や予算がかかる大規模なものではなく、フットワークの軽い小規模な講演会・セミナーを開催します。

③ 北中城村トラベルマート きたポでの委託販売

イオンモール沖縄ライカム内にて営業中の「北中城村トラベルマート きたポ」にて委託販売や会員事業所の案内・誘客等を行います。

④ 会員同士の連携・共有支援

観光協会会員は飲食店、宿泊施設、観光施設等多岐に渡るため、一堂に会する会議では、なかなか出席出来ないという問題があります。そのため場所や日時に左右されないオンラインで会員同士で情報交換・情報共有が可能な非公開の「北中城村観光協会・会員 LINE オープンチャット」「北中城村観光協会・Facebook グループ」を開設し、会員間で情報交換・情報共有出来るようにします。

⑤ スタジオキタナカを利用した会員の情報発信の場を提供

スタジオキタナカを会員の皆様にご利用いただき、会員や会員同士の情報発信の場として活用いただけるよう整備して参ります。本年度は観光協会として積極的に番組制作を制作し、会員の皆様のプロモーションに

寄与したいと考えております。

2. 観光資源創出に向けた取り組み

① スタジオキタナカでの番組制作を実施し、観光資源を創出する。

スタジオキタナカで番組を制作し発信していく事で、例えば古宇利島の「ハートロック」の事例のように、観光地ではなかった場所、人があまり目を向けていなかった場所にスポットや人やモノ、出来事等も含め、観光資源化していきます。

② 新規観光資源創出に係る調査

既存の観光資源に留まらず、新たな観光資源の創出について様々なコンテンツを調査してまいります。31年度事業として検討していた「バンジージャンプ事業」について継続して検討し、実施に向けて進めていきます。

3. 受託事業の実施

① 観光誘客プロモーション業務（40,948,000円）

観光協会設立の主目的の1つでもある観光客をいかに村へ誘客するかを主題とした事業です。主に以下3本柱で実施致します。

- ・観光案内による誘客
- ・観光案内冊子の製作及び配布による誘客
- ・イベントを活用しての村知名度向上及び誘客

② 観光情報インフラ整備推進業務（9,568,000円）

観光客へはFree Wi-Fiによる利便性向上、村全体としては集客数の把握（どこから来た？どのように村内を移動した？何人来た？）等を把握できる仕組みづくりをするための事業です。昨年度までは「Be OKINAWA」のサービスプラットフォームを使用していましたが、令和2年度からは、オリジナルのWi-Fiサービスとし、沖縄市や那覇市のWi-Fiサービスとの連携も検討していきます。

③ 地域おこし協力隊活動支援事業（6,500,000円）

北中城村地域おこし協力隊の活動にかかるマネジメント及び予算管理を行う。

④ 北中城村宿泊客調査（補助金を含む）
通年各月で北中城村内宿泊施設について、宿泊数や宿泊客の動向等を調査し、村役場、会員間で共有する。

⑤ その他受託事業
自主財源の確立に向け、様々な事業に挑戦してまいりたいと考えております。昨年度は外販、各種デザイン業務や健康事業等を実施。
会員事業者様からも積極的なご提言をお待ちしております。

4. 観光協会運営体制の確立

① 観光推進委員会のメンバー募集と開催

観光推進委員会については平成 31 年度の事業計画に含まれていながら、開催には至っておりませんでした。改めて開催に向けて取り組みます。なお、推進委員会については、参加する委員の了承が得られれば、会員限定公開として動画によって会員向けに公開したいと考えております。

② 事務局運営体制の確立

令和元年 11 月に新しい事務局長が就任。職員の入替え等もあり、残念ながら現時点で理事や会員の皆様にご満足いただける安定的な事務局体制には至っておりません。理事会については開催回数を増やし、積極的に情報や課題を共有し理事の知見を積極的に活用させて頂きたいと考えております。また、2019 年 12 月から月例で開催するようになった三役会も継続し、会長・副会長・事務局長のコミュニケーションも強化。もちろん、職員についてもよりコミュニケーションを深め、個々の能力を生かす環境整備を進めており、引き続き人材育成を進めていきます。

将来的には DMO（地域マーケティング、マネージメントを行う組織）化に向けては、まず職員のマーケティング、マネージメント能力を高める人材育成を行います。

③ 広域連携推進

将来的な DMO 化も考慮し、様々な広域連携と積極的に係り、広域連携を推進してまいります。

- ・ 中部広域市町村圏事務組合
- ・ 東海岸サンライズ推進協議会
- ・ まちまーい協議会

- ・琉球大学、北中城村、北中城村商工会、観光協会の包括連携協定
- ・沖縄観光コンベンションビューローによる観光協会等会議等